

島根原子力発電所の運転状況（平成22年 2月）

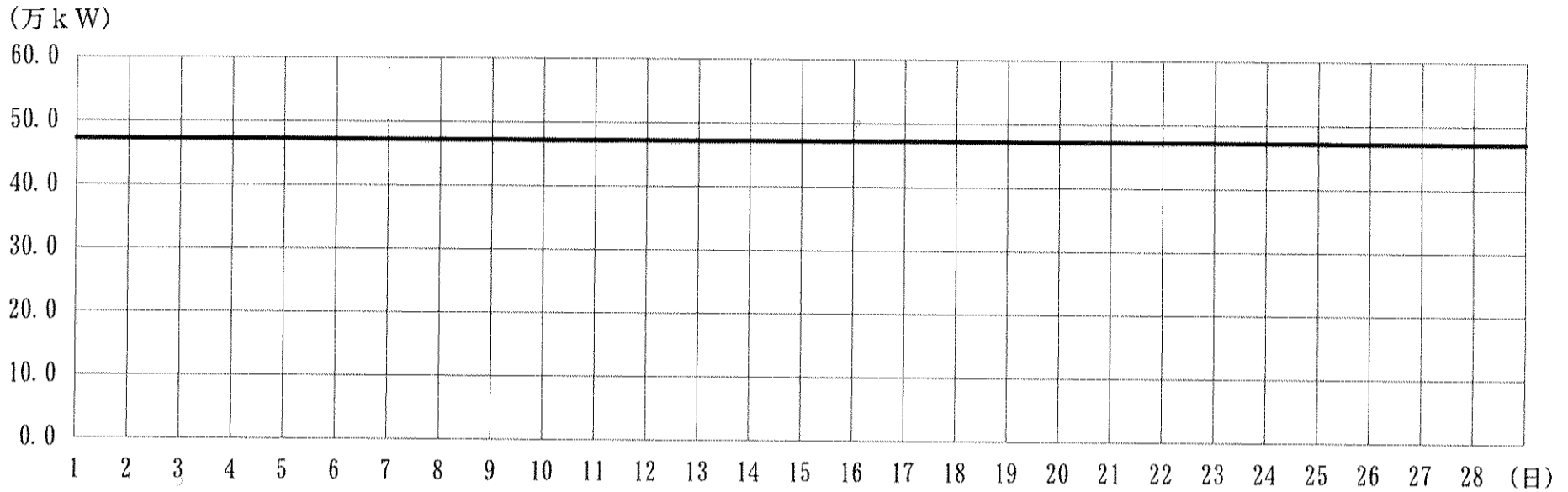
I. 1号機

1. 運転状況

発電時間 672h 発電電力量 31,680.4万kWh 設備利用率 102.5%

2. 主要項目

なし



3. 特記事項

なし

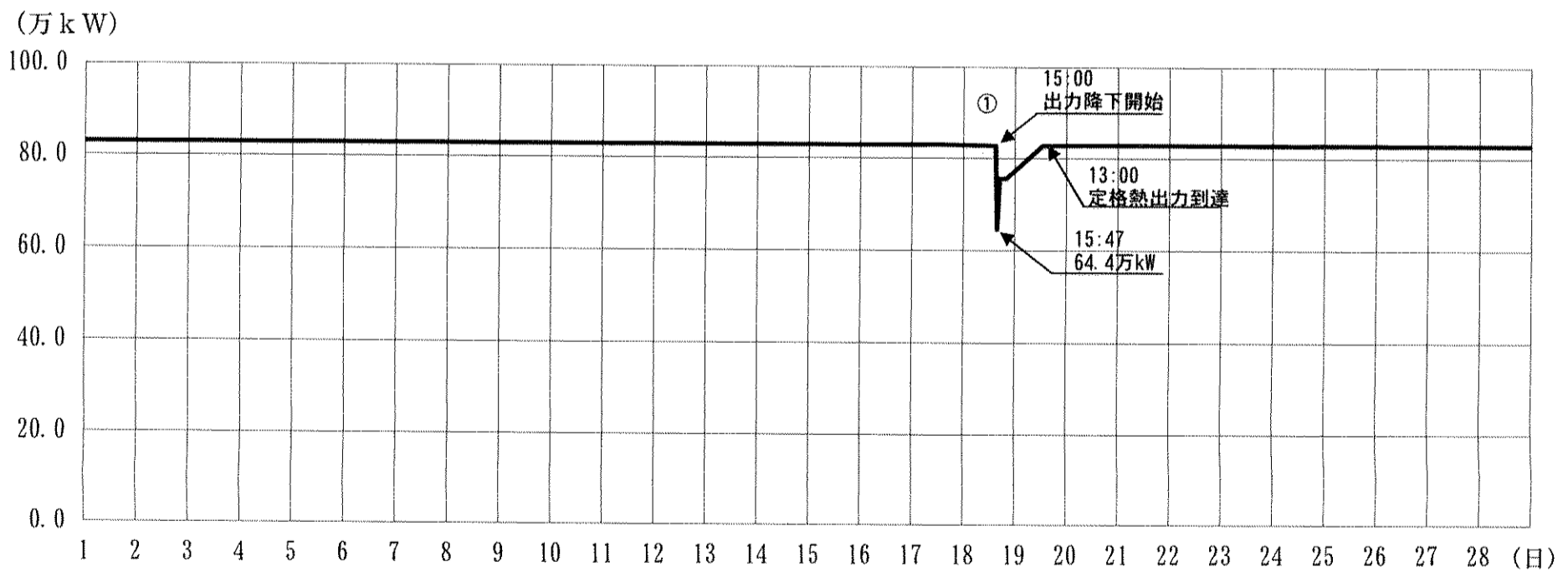
II. 2号機

1. 運転状況

発電時間 672h 発電電力量 55,584.2万kWh 設備利用率 100.9%

2. 主要項目

①制御棒分布変更（2/18 15:00～ 2/19 13:00）



3. 特記事項

別紙参照

III. その他

なし

【特記事項（2号機）】

(1) 応力腐食割れに対する予防保全の観点から、次回の定期検査（第16回）において計画している原子炉再循環系配管の取替工事について、2月1日（月）に国へ工事計画認可申請を行っていたが、2月24日（水）に同工事計画が認可された。

(2) 2月16日（火）14時00分頃、2号機原子炉建物において、放射線管理区域内に設定している汚染区域（燃料プール冷却系のフィルタエレメント除染室）で、協力会社作業員6名のうち1名が、個人線量計^{※1}及びガラスバッジ^{※2}を未着用のまま約30分間作業するという事象が発生した。

原因は、当該作業員が放射線区域から汚染区域への入域に伴う着替えの際に、個人線量計及びガラスバッジを一旦取り外したまま、再度着用することを忘れていたことによるもの。

このため、社員及び協力会社に対し、汚染区域用装備着用後は個人線量計及びガラスバッジを着用していることを再確認することを周知徹底するとともに、汚染区域出入口に注意喚起の表示を設置した。

作業を行っていたエリアの線量当量率は低く、また、同一作業に従事していた他の作業員全員の個人線量計の値が0.00mSvであったことから、本人の線量は「0.00mSv」と評価した。

※1： 個人線量計は γ 線を測定する線量計であり日々の線量管理に用いている。

※2： ガラスバッジは γ 線、 β 線、中性子線を測定する線量計で1回/月の頻度で評価・記録している。

以上